

声 明

ガザ200万市民の「人間として、尊厳をもって、平和に生きる権利」を根こそぎ奪う、残虐非道なジェノサイドを許さない

2023.11.15

9条地球憲章の会 代表 堀尾輝久・事務局長 日良誠二郎

10月7日のハマスによる国際法無視の老若男女イスラエル市民への無差別奇襲攻撃は許されない。しかし、それへの報復をいわば絶好の口実にしたイスラエル政府の、ハマスの不法行為をはるかに上回る、ガザ老若男女200万市民の「人間として、尊厳をもって、平和に生きる権利」を根こそぎ奪う、無差別ミサイル爆撃と地上攻撃によるジェノサイド（集団虐殺）は、絶対に許されない。

そのすさまじい非道な実態が明らかになるに従い、ハマスの行為を非難しつつも、イスラエルによってこれまで長期にわたって不当に抑圧されてきたガザ市民への連帯と同情の声と、イスラエル政府非難の声は、ユダヤ系市民を含めた世界中の平和と正義を愛する市民から日に日に大きく高まっている。

私たち「9条地球憲章の会」は、2つの世界大戦の惨禍を経て日本国憲法の前文と9条に結晶した、人類史の「地球時代」にこそふさわしい平和の理念を守り抜き、さらに深めながら日本だけでなく世界中の平和と正義を愛する市民と共有することを目指して、7年前に結成された。

その理念の核心こそが、すべての人間は「持続可能な地球環境の下で、人間として、尊厳をもって、平和に生きる権利」を持つということだった。

今、ロシアによってウクライナの市民が、続いてイスラエルによってガザの市民が、まさにその人間としての崇高な権利を奪われつつある。

とりわけ人生を生き始めたばかりの無数の子どもたちが、その権利を非道に奪われるのを座視はできない。

日本の平和と正義を愛する市民に、世界中の市民と共にさらに声を上げることを呼びかけたい。家族と友人、恋人、同僚らと共に、SNS上で、街頭で。

即時停戦！

ハマスは人質を解放せよ！

イスラエルはジェノサイドを止めよ！



URL (<https://www.9peacecharter.org>)

Mail (9.globalpeace@gmail.com)